

防災体験学習 in 宍粟市立^{かの}神野小学校 ～防災教育の充実に向けた支援の取組～

H30.10.26

—姫路河川国道事務所—

自然災害から命を守るためには、一人一人が災害時に適切な避難行動をとることができる能力を養う必要があります。幼少期から防災教育を進めることは、自然災害に関する「心構え」と「知識」を備えた個人を育成することに効果的であり、これにより、子供から家庭、さらには地域へと防災知識等が浸透していくことが期待できます。今回、揖保川減災対策協議会では、宍粟市立神野小学校の協力により、小学4～6年生（3クラス）を対象とし、22日の防災授業に引き続き、防災体験学習を実施しました。

概要

対象河川：揖保川水系揖保川

位置図



- 日時：平成30年10月26日（金）9：30～11：20
- 場所：宍粟市立神野小学校
- 参加機関：宍粟市立神野小学校4・5・6年生（約70人）
姫路河川国道事務所、宍粟市、西播磨消防組合
- 授業内容：●ハザードマップ、マイクロモデル体験 ●浸水歩行体験
●土のう作り・土のう積み体験 ●避難所体験



浸水歩行体験



避難所体験(簡易ベッドの作成)



土のう作り体験



マイクロモデル(川の模型)体験



土のう積み体験

体験した感想

- ハザードマップ、マイクロモデル体験 ⇒ ハザードマップを見て家があぶないと思った（5年男子）
- 避難所体験 ⇒ ダンボールなのに強度があってびっくりした。おもしろかった。（6年男子）
- 浸水歩行体験 ⇒ 歩きにくかった。楽しかったけどつかれた（4年女子）
- 土のう作り・土のう積み体験 ⇒ 重たくて作るのも、積むのも大変だった（5年女子）